

ヒロセグループ

173

ヒロセグループの

「環境と働く人への負荷軽減への取組(現場発技術革新)」

ヒロセグループは「私達は 鍛えぬいた現場力と信頼される技術で 豊かな暮らしを支え続けます」を経営理念に掲げる、重仮設事業や補強土事業をはじめ、地下工事やタワークレーン事業など、幅広く社会基盤の構築を支える企業集団です。

近年問題となっている気候変動や災害、環境などの社会的課題の解決や現場における安全性や生産性の向上を目指し、日々、開発や取り組みを続けています。グループ各社がこれまで培った最新の技術や商品をご紹介します。



hitot ホールディングス株式会社

hitot 株式会社

成幸利根株式会社

INDUSTRIAL LEASING CORPORATION
産業リース株式会社

担当部署 ヒロセホールディングス(株) 担当者 大井川

Tel 03-5634-4505 Fax 03-5634-0265

PS-Bridge® (空気膜構造・緊急復旧橋)

PS-Bridge®は、軽量、高速架設、コンパクト収納で早期に交通確保できる緊急復旧橋です。空気膜チューブ(PVC被覆ポリエステル製)と鋼製ケーブルにより、低桁高の圧縮桁を空気圧で保持する構造を特徴とし、軽量で、大型重機を使用しないで架設することができます。部材は、ユニット式のボルト接合のため、組立・解体が容易で、繰り返しの利用も可能です。

- 【特長】
- 軽量：橋長15.6m、幅員3.6mの場合、総重量5t
 - 高速架設：作業員12人が4時間で組立・架設完了
 - コンパクト収納：保管容積20フィートコンテナ1台



PS-Bridge®(橋長15.6m、幅員3.6m)

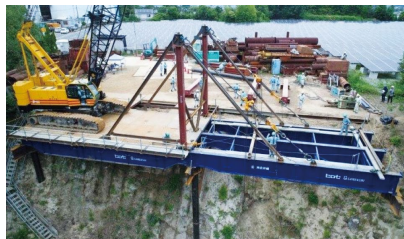
【問い合わせ先】

ヒロセホールディングス(株) 担当者 熊田 Tel 03-5634-4502 <https://www.hirose-grp.com/>

HiDoレス®工法(導航レス工法)

導航打設を無くし、工期短縮、安全性向上を実現する工法。導航機能をG栈橋と専用の受桁に担わせることで導航工程を大幅に短縮した。また上部工にはG栈橋を用いることで最大橋長14.0mを実現。長スパン化による杭本数の削減、河積阻害率低減も実現している。鋼管杭の活用はプレス材、橋軸・橋軸直角杭の本数削減ができるため、下部工を簡素化できる。高所作業の工程を削減することで安全性の向上を図った。

ヒロセG栈橋®(NETIS登録 NO. KT-120094-VR)



即結管べえ®

(誤差吸収乾式鋼管継手)

独自の鋼管キャップにより溶接レスで上杭とのジョイントを迅速に行うことが出来る。機械式継手による溶接レス接合であるため、支持杭(下杭)の施工誤差を上杭で吸収できる。下部工を地組してユニット架設が可能となり工期短縮、安全性向上を実現。PG、G栈橋といった長スパン工法と組み合わせることで杭本数の低減などさらに効果を発揮できる。



ヒロセメガクランプ®

(溶接レス鋼管杭接続)

鋼管杭に下部工ユニットを溶接レスで接続できる工法。ユニット化できるため施工が迅速であり、火気がなく足場も最低限に抑えられ安全性が高くなっている。また、溶接レスのため水中でも接続も可能である。



【問い合わせ先】

ヒロセ(株) 大阪本店 担当者 林 Tel 06-6203-8100 hiroseosakabranh@hirose-net.co.jp <http://www.hirose-net.com/>

<https://www.hirose-grp.com/>

フレックス エコウォール®工法 (耐震性鉛直遮水壁)

天然粘土鉱物であるベントナイトを主材料とした柔軟性、遮水性、耐久性に優れた粘土型鉛直遮水壁です。TRD施工機等を用いて、高濃度のスラリー化したベントナイトを注入しながら地盤と混合攪拌し、変形追随性の高いフレキシブルな遮水壁を構築します。阪神大震災クラス地震にも耐えうるセメント材料を使わない環境にやさしい遮水壁工法です。

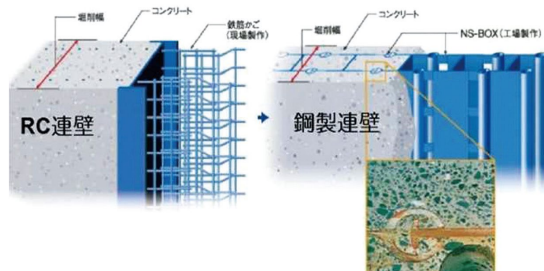


低空頭鋼製地中連続壁工法

鋼製地中連続壁工法は、深度100mを超える大深度掘削にも対応できる高剛性の土留壁工法です。工場で作られた継手付きの鋼材を嵌合しながら壁体を構築する工法のため、鉄筋籠を用いるRC連壁工法に比べ30%程度の薄壁化が可能で、用地制約がある場所で多くの実績があります。都市部における下水道・鉄道・道路事業など、上空制限下での大深度掘削を伴う場合でも、特殊な掘削機で施工が可能で、高い止水性と高い剛性を持った土留壁兼用の本体構造物としての利用ができます。



低空頭施工機



Neo-e工法 (商標登録出願中) (硬化時間コントロール型ソイルセメント壁)

ソイルセメント連続壁工法の流動性保持時間をコントロールすることで、長い材料の導入性と精度を向上させるとともに減型高性能ソイルセメント壁工法です。



【問い合わせ先】

成幸利根(株) 西日本支店 担当者 森 Tel 06-6233-5300 <http://www.seikotone.co.jp/>

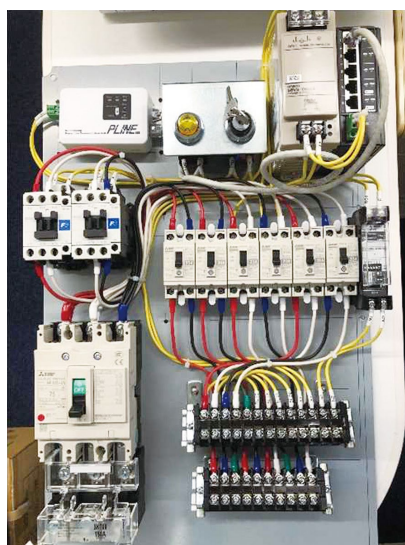
仮設分電盤『ホトラボード』(電気につながるIoT)

通信環境を構築する事でお困りの方、悩んでいる方、
検討されている方はいませんか？

携帯・タブレット・クラウド使用料/人・WiFi環境の構築・社内のVPN環境の構築等インターネット環境を構築するだけで様々な通信費用がかかります。またWebカメラ等の動画の場合多大な通信費もかさみます。

そこで作業所内に点在する仮設分電盤の電力に通信をのせることにより作業所内のどこでも通信をつなげる環境を構築させます。また必要な所に必要な数だけカメラの設置、アクセスポイントの設置を行う。LANケーブルの差し替えのみで必要な場所への移設を可能にする。

長期間の場合、カメラ・WiFi等も含め、数量を大幅に減らす・設置位置の変更に伴う人件費・WiFi環境を整えることにより通信費用の削減・自社研究開発を行っているシステムの採用促進及び効果の検証に使用できるお手伝いをさせていただきます。



【問い合わせ先】

産業リーシング(株) 担当者 伊佐 Tel 03-5207-7081 <https://www.sangyo-leasing.co.jp/>